

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

人材不足で役員のなり手がいない。共働き家庭が多く、事業等の参加が少ない。高齢者が多い。
障がい者に対する避難支援体制に不明点がある。
要支援者の関係～要支援者が特定されないようにと要求されるため、支援にあたる方の精神的負担が大きくなり引き受けを拒否される要因になっている。
人員不足です。住人の高齢化。
自主防災組織を作っているが、仕事等で連絡が取れない。又、家の固定電話が無い家庭が多くなっている為、連絡方法がない。
活動手順 何を準備し、どの様にするか。
身近に感じられる災害状況が良く理解できないため、訓練に関心がない。指導できる人がいないため、実施に消極的になってしまう。
支援者の高齢化
役員が仕事を持っているために対応しかねる場合がある。
とにかく防災に対する関心が薄い
災害の程度にもよるが、防災会としてどの程度の活動ができるかわからない。避難行動要支援者への対応する名簿は作成しているが、実際に対応できるか不安である。組織の老齢化が進んでいる。
若い人が町内に少ない
自主防災組織は立ち上げたが、組織としての活動が鈍い
地域住民の高齢化による。
訓練等の参加者が、いつも同じ人となっている。 若い人達は自主防災以外にも忙しそうだ。
自主防災会の組織は、自治会役員の宛職で定められているが、具体的な活動が出来ていない。
組織の役員を担う人がなかなかいない
組織はあるが、具体的活動を行っていないため。

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

役員24名中で日中に緊急時に活動できる人数が8名位で3分の1になる。
仕事を持っているため、なかなか参加できない
役員は指定職のため、組織はあるが、活動していない
当地区では、川の氾濫や土砂の崩壊など災害が発生しない地形で、あるとすれば火事や地震で防災の周知が難しい
災害経験が少ない為、自分の場所は大丈夫と言う人間が多い。意識改革が必要な為、勉強会不足
避難所は湯口振興センターであるが、ほとんどの人が行かないと考えられる。遠い、途中で危険力所がある等からと思う。
災害時、安全な集合場所がないため、地域に合った防災訓練の指導をお願いしたいと思っております。
仕事をしながらの活動の為、地区全体での行動要支援者の対応が必要な課題と考えている。コロナのため避難訓練等ができなかった。活動費も振興会との相談のため。
平日の日中は、ほとんどの役員が仕事をしているので、連絡が取れても活動できるかが不安である。勤務先からすぐ来れない場合、少人数での対応となる。
連絡網の作成
いずれの課題についても具体的な方策を検討し、策定してこなかった
訓練の具体的な方法がわからない。
平常時の活動とは具体的にどのような活動をすればよいのかわからない。自治会役員のなり手がいないので、十分な活動ができない。(高齢化や仕事の関係など)
当防災会では11月23日を勤労感謝祭と同時に行い、参加者を確保している。
役員等しか参加しない、何かの行事と併合して行えばよいと思っている。

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

高齢化のため
夜間と昼間の在宅人数が違うため、二本立てで作成する必要がある。災害が予想し辛く、また、避難するのは、災害が起きてからではないのか..。
避難所に遠い民家の移動対応
R5年度訓練を予定しているが、参加者が集まるか心配
1,2,3について 誰がいつどのような活動(対応)を行えばよいか、具体策を考えていない 5について 40代、50代の担い手が少ない。高齢化している傾向が強い
災害の経験がないので不安です。
災害時の時間帯や災害内容等によって、活動体制や支援者対応が大きく変わるのではないかとと思われるので、連絡体制や活動計画が難しい。
4 地域世帯住民の高齢化 休日行事の多様化により、若年層の参加意識が希薄。 5 自治会役員が自主防災組織の役員も兼務するため、組織内の内部循環がない。
消防団との関連で消防団も自主防災活動に入れてもいいか。
活動費がまったくない。
これまで大きな災害が少なく、地区民の意識が低い
支援者の確実な連絡が取れるか心配
1,2 災害時に組織が実際に機能するか。 4 いつもそうだが、参加者を増やすことが難しい。
班ごとに集まったの「危険場所の把握」や「災害時の伝達方法」を確認する会議を開催する

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

中に災害が発生した場合に仕事等の関係で地域にいない役員が多く、日中の活動体制について検討している。また、訓練に参加協力する住民が少なく、確保方法を検討している。

介護が必要な方をどこまで手を掛けても良いのか平時ほど悩む

コロナの影響があるので、どこまで行えばよいのか思案している。

世帯数の3分の1は高齢者世帯(70歳以上)

現実にどのような災害が起きるのか想定できない。

避難訓練に参加する方は、ほとんど役員、班長が主なので、地区全体としての訓練が難しい。

平常時の活動は何をしたらいいのか

- ・高齢化の進行で平常時の活動従事者の確保(特に若い年代層が不足)
- ・避難行動要支援者への具体的対応策が不十分

災害の少ない地域という意識があり、平常時の活動に取り組みにくい。高齢化や若干、子供の数が少なく、参加者確保に難あり。自治会の限られた予算しかない。

2 家族の了解が必要

4 就労者が多いため、参加者確保が厳しい

コロナのせいにはしたくないが、フットワークが、私を含め、意識が薄れている

何事も総参加が基本となるため

想定される災害が大地震位のため、災害に対する意識が無い感じがする。

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

振興会予算の内には防災費として予算化していない
70歳くらいの人でも仕事を続けていることが当たり前になっている。平日や仕事での参加が無理。
家への距離が遠い(特に冬)
組織の活動費・・・実際はなしです。
・実際に災害が発生した時、自身の避難が最優先で心にはあるが、要支援者等の避難支援は不可能。 ・防災会規約等は、整備されているが、ここ数年コロナ禍で集まりも持てず組織が形骸化してきている。
自主防災組織の担い手を、再度見直しが必要。
平均年齢が毎年上がっているため、次に代わる担い手の確保に苦慮しています。
訓練を行う上で、参加者の確保は、意識付け、体制構築を図る上で重要である。その為には、コミュニケーション事業(催事)で集客する必要がある。この活動に必要な資金は地域づくり交付金を充当するのがベストであり、コミュニティ会議の理解が不可欠となる。
役員の体制(組織)は出来ているが、具体的活動体制ができていない。人員不足、町外の勤務(日中不在)
"1災害時の・・・"というより、災害発生前の避難情報が発令され、避難所に来られた避難者への対応が大変。避難者は高齢者が多く、避難所の運営など、出来ない。要支援者と近所や近隣の折り返いが悪い場合の、支援者を見つけるのが大変。
自主防災組織の認知、理解、協力体制の確立が難しい。要支援者名簿等の取り扱い(管理等)が複雑、大変に感じる。
2 支援者への移動方法 3 どのような訓練が必要か
そもそも公民館の役員自体、担い手がない。
・訓練等の仕方など解らない部分がある。 ・通常職場など、別なため全員参加が難しい。

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

災害時の活動体制がマニュアル化されていない。

平常時はほとんど活動していない。

高齢化

コロナ禍により組織の活動停滞により、認識が希薄になって来ている感がある。

高齢化と健康問題及び定年延長で実働部隊が働き続けている。

若い人がいない

日中の災害時に実際に行動できる人がいない(平日日中は老人ばかりである)

自主防災の組織図に人員をあてているが、役割そのものの行動をどうやればいいのか分からない。

日中に災害が発生した場合、自宅に居る方は、ほとんど高齢者のため、組織が運営できない。私達の地域は、比較的高い所にあり、水害等の場合は、避難所の方が危険と思われる。

要支援者名簿内にある開封してはならぬとある方への対応

まずは家族の対応、その後応援要請の流れ、近所の安否確認が第一

災害時のマニュアルのひな型をHPIに載せていただきたい。(ワンシートマニュアルのイメージ)

訓練を実施しても参加者が少ない。役員等のなり手がいない。

自宅不在の時もある(自家用車移動)不在の方が多い

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

何から手始めに行えばよいかわからない。

上記に書きましたが、定年年齢の上昇に伴い、町内会で企画しても参加者が減少しています。比較的若い世代も子供たちの保護者会活動に忙しく、また、55～65歳の方も仕事をしている方が多く、役員のみでの参加で仮想的な実施になり、実際の災害時に対応できるか不安。

夜間などで「もう就寝したから」と断られた場合など

自主防災会の規約を発見し、動ける様に体制を見直している途中になります。事務局体制が無かったので、公民館役員が担うことに規約を変更するなど、具体的な活動を模索している途中です。コロナ感染拡大のために、地区の通常総会を対面形式で行うことが出来ていないこともあり、活動の趣旨がうまく広まっていないと感じます。

役割分担

具体性がない

地区内で問題課題としていない。  
意識がない。

高齢者の一人暮らし世帯の増加

高齢化による、多方面への影響(独居者増加)

災害のとき、スムーズに出来るか不安である。

自主防災組織について2年任期、その2年間ほどコロナ禍で、私も昨年より区長であり、訓練等考えられなかった。しかし、災害は時を待たないことは強く感じております。

参加者が少ない、回覧板等で周知して多くの参加者を集めたい

高齢化している、担い手不足

2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

組織は出来ているが、災害に対する認識がなく、活動に熱が入らない(災害の経験がない)

- ・任務の分担を明確にしていない。
- ・自治会同様役員のなり手が限られている。

参加者が少ない上、40.50代の参加が少ない

要支援者と面会・調整が未実施である。

一人世帯が多い。防災に対して興味がない。

要支援者の名簿はあるが、災害時にその家族の連携がどうなるか、実際にどういう支援が必要なのか不明である。

人員不足(過疎化)のため、各組織で役員が重複しており、活動がおもわしくない。

組織の規約、防災計画の策定

住民が参加しない

支援者及び被災者に対する対応の仕方が分からない。有事の際の具体的対応が分からない。

要支援者への対応の内容を具体的に示さないと活動できない。ただし、救援者の生命を確保できる内容を示したい。

地域の人口構成として若者が少なく、担い手が不足。災害時に本当に動けると予想される人が少ない現状。

平日は家にいる(活動)できる人がいない。



2-9、2-10 自主防災組織の活動において、課題となっていることはありますか。(回答一覧)

組織内で、要支援者の対応を確認するところから始めなければならない状態である。

高齢者が多いために活動を行っても参加する人が少ない(若者が少ない)